

実務におけるグラフの作り方

コース紹介

実務において、グラフを作る機会は沢山あると思いますが、グラフは正しい見せ方をしなければ、意図が正しく伝わらないばかりか、重要な問題を見落とすことがあります。

本講義では、どのようなグラフの種類・特徴があり、どんな時にどのグラフを活用すればよいのかを学習していきます。

Lesson構成

01 実務におけるグラフの作り方～前編～	12分
02 実務におけるグラフの作り方～中編～	14分
03 実務におけるグラフの作り方～後編～	10分

対象：主任・班長以上

分野：【C】問題解決・思考力

✓ 動画再生時間：約36分

✓ 学習時間目安：約1時間17分

✓ 教材の構成：動画コンテンツ 3本

理解度確認テスト 各5問 総合テスト 20問

実務におけるグラフの作り方

KAIZEN BASE

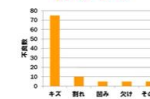
2. グラフの種類と特徴

円グラフ



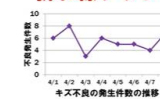
全体の中での
構成比を見る

棒グラフ



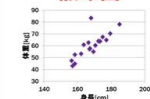
棒の高さで、
大小を比較する

折れ線グラフ



量が増加か減少か、
変化の傾向を見る

散布図



2種類のデータの
相関を見る

ヒストグラム



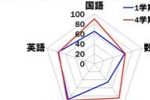
データのバラツキの
大きさを見る

帯グラフ



構成比の変化を見る

レーダーチャート



複数の指標をまとめて見る

レーダーチャートは、複数の指標をまとめて見る時に使います。